

## シンボル

松を図案化した九州大学のシンボルの歴史は1949年にさかのぼります。同年、学生パッチの図案公募が行われ、70人の学生から153点の応募がありました。図案審査にあたっては、学校側、学生側同数の委員からなる審査会を開いて検討し、当時農学部農業土木学科3年だった宗好秀氏の案が採択されました。こうして、1950年2月10日から使用されることになりました。応募作品の題材は、松を図案化したものが多かったのですが、これは当時大学周辺、病院地区から箱崎地区まで一面に松原が広がっていたことによります。

現在のデザインは、この伝統的なシンボルをより使いやすく、より現代にマッチしたかたちにリデザインし、2004年に商標登録を行い、正式シンボルとして使用しています。



ロゴタイプ

ロゴタイプは、シンボルの形状にあわせて制作しました。九州大学のシンボルと併用する書体は、常にこのロゴタイプを用います。

九州大学

KYUSHU UNIVERSITY

## シンボルロゴの要素

シンボルロゴは「シンボル」と「ロゴタイプ」の2つの要素から構成されます。組み合わせは厳密に定められています。

## ■シンボル

松葉をかたどった円形のマークを「シンボル」と呼びます。



## ■ロゴタイプ

「九州大学」「KYUSHU UNIVERSITY」の文字をロゴタイプと言います。和文と英文があり、和文はシンボルの形状に合わせてオリジナルの書体が制作されています。英文は和文に合わせて swift という書体が指定されています。

# 九州大学

## KYUSHU UNIVERSITY

## ■シンボルロゴ

シンボルとロゴタイプの組み合わせを「シンボルロゴ」と呼びます。シンボルロゴには全部で5つのタイプがあります。



九州大学  
KYUSHU UNIVERSITY



九州大学



KYUSHU  
UNIVERSITY



九州大学



KYUSHU UNIVERSITY

## 5 タイプのシンボルロゴ

5 タイプのシンボルロゴは、それぞれ十分検討したうえでシンボルとロゴを組み合わせています。原則として、これ以外のやり方で、シンボルとロゴタイプを組み合わせることはできません。

### 天地方向の組み合わせ

シンボルと和文ロゴタイプ、および英文ロゴタイプを天地方向に組み合わせさせたタイプ

和文+英文



### 左右方向の組み合わせ

なし

シンボルと和文ロゴタイプを天地方向に組み合わせさせたタイプ

和文



シンボルと和文ロゴタイプを左右方向に組み合わせさせたタイプ



シンボルと英文ロゴタイプを天地方向に組み合わせさせたタイプ

英文



シンボルと英文ロゴタイプを左右方向に組み合わせさせたタイプ

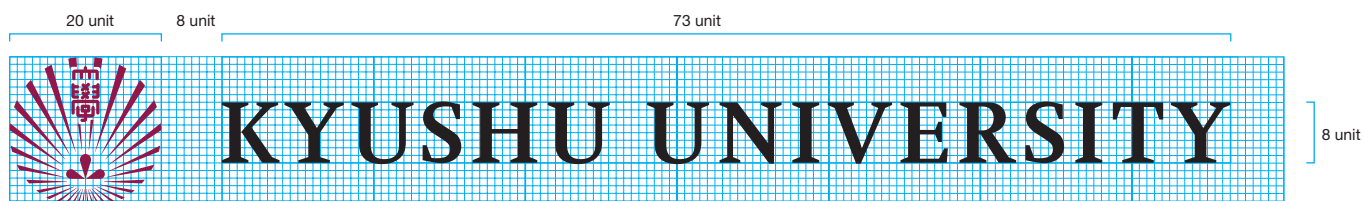
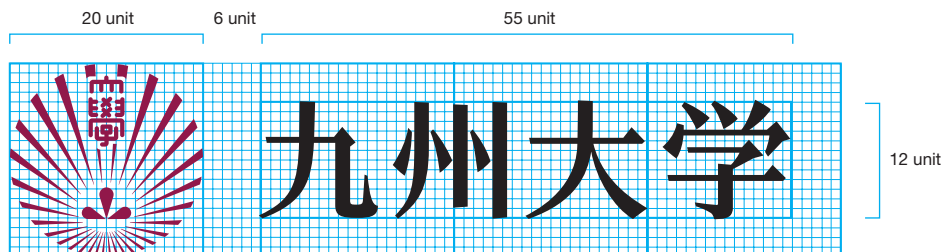
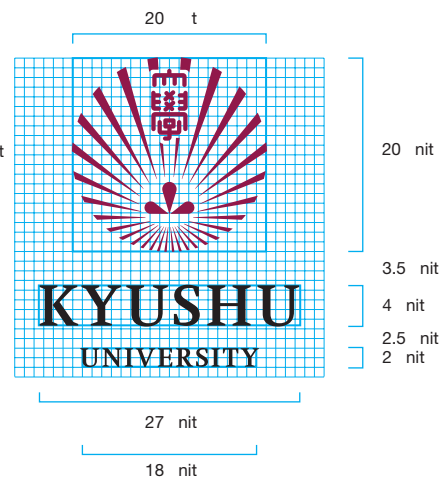
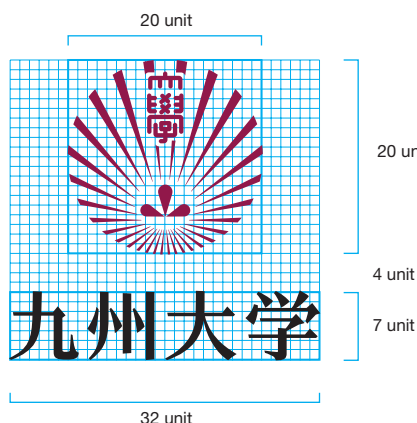
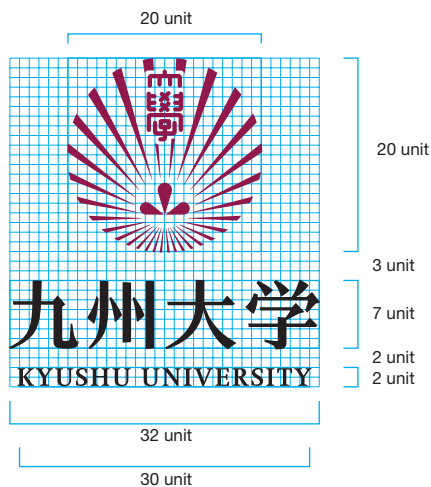
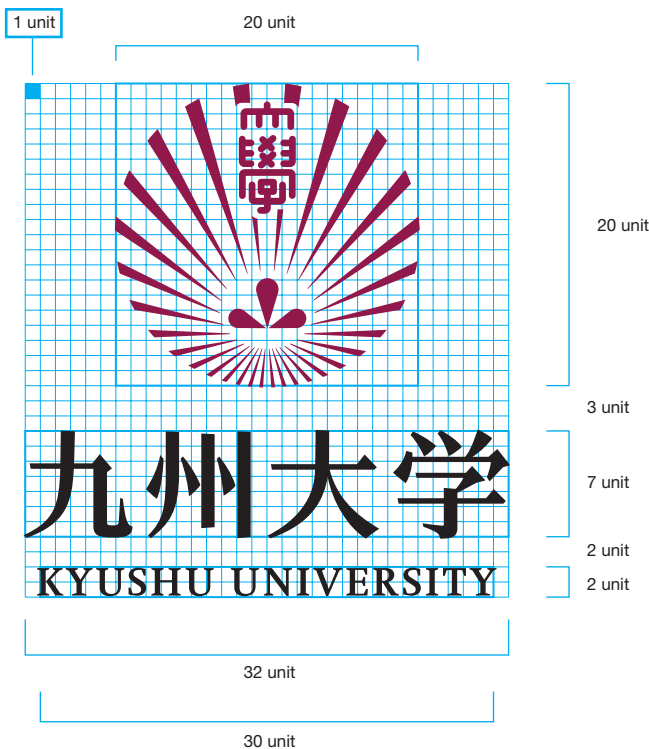


## シンボルロゴの割り出し図

### 考え方の基本

シンボルの直径の 1/20 を 1 ユニットとします。このユニットを基本単位としてロゴタイプのサイズ、シンボルとロゴタイプ間の空間を算出しています。

たとえば、右図の組み合わせタイプの場合は、和文の最大文字幅は 32 ユニットとなります。ちなみに、シンボルの 20 ユニットとこの値の比率は 5 対 8 となり、ほぼ黄金分割の割合に近い比率です。



## 組み合わせタイプの基本的考え方と用法

### シンボルと和文ロゴタイプ、英文ロゴタイプを天地方向に組み合わせたタイプ

- もっともフォーマルなタイプ
- どの用途でも使用できる
- 左右センターの配置が適切
- 部局などの名称とは切り離して使用



### シンボルと和文ロゴタイプを天地方向に組み合わせたタイプ

- ややフォーマルなタイプ
- 主に和文ドキュメントで使用
- 左右センターの配置が適切
- 部局などの名称とは切り離して使用



### シンボルと英文ロゴタイプを天地方向に組み合わせたタイプ

- ややフォーマルなタイプ
- 主に英文ドキュメントで使用
- 左右センターの配置が適切
- 部局などの名称とは切り離して使用



### シンボルと和文ロゴタイプを左右方向に組み合わせたタイプ

- 汎用タイプ
- 主に和文ドキュメントで使用
- 左右に寄せた配置が適切
- 部局などの名称と組み合わせて使用できる



### シンボルと英文ロゴタイプを左右方向に組み合わせたタイプ

- 汎用タイプ
- 主に英文ドキュメントで使用
- 左右に寄せた配置が適切
- 部局などの名称と組み合わせて使用できる



## UI カラー

九州大学を象徴する色を「UI カラー」として定めています。シンボルを始め、レイアウトなどに、UI カラーを効果的に使うことにより「九州大学らしさ」を強調することができます。



印刷指定色（特色）	DIC230
印刷基本 4 色掛け合わせ	C35 / M100 / Y50 / K35
3M カラーシート	Nocs51-02
マンセル色表	10RP3/12

## UI カラーのシンボルロゴへの適用

シンボルに UI カラーを用い、ロゴタイプに黒を用いる展開が基本となります。単色の場合には黒、UI カラー、その他の色彩を適用できます。

### UI カラーと黒の 2 色を用いた基本配色



### 単色の展開



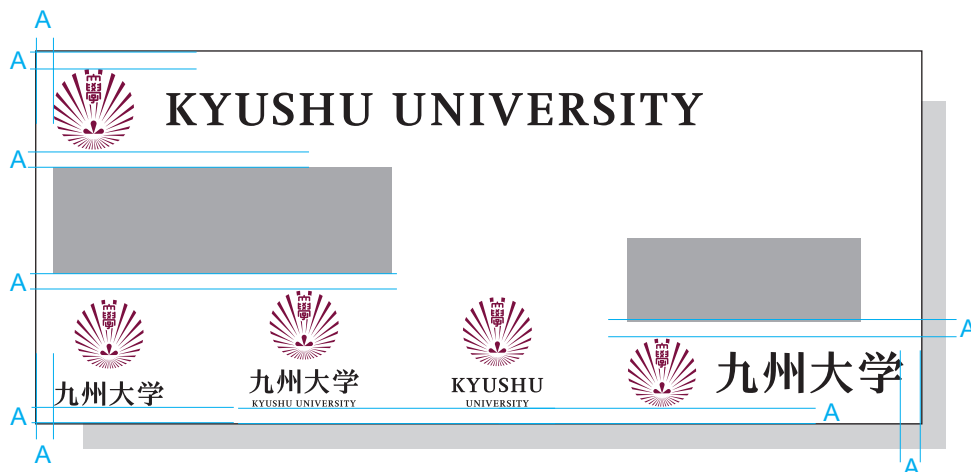
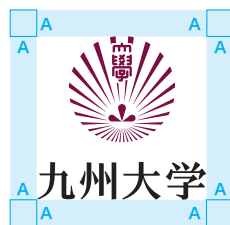
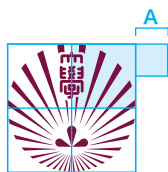
## シンボルロゴの配置について

空間が限られているなどの制約のある例外を除き、シンボルロゴは、余裕のある空間に配置するとより効果的です。シンボルロゴの配置にあたっては、シンボルロゴへの他の要素の干渉を防ぐため周囲のグラフィック要素、紙面の端との間に最小限確保すべき余白を規定しています。

このようにシンボルロゴを独立させて配置することを「アイソレーション」と言います。アイソレーションのルールは下記の説明のとおりですが、利便性のために、最小限確保すべき周囲の空間を含んだシンボルロゴのデータを提供しています。このデータを画像や文字などを重ねずに使用すれば、正しく配置されます。

ただし、部局などの名称と組み合わせる場合には、この規定は適用されません。

アイソレーションの仕組みは、下図のとおり、シンボルの直径の4分の1を最小限必要な余白 (A) として算出しています。



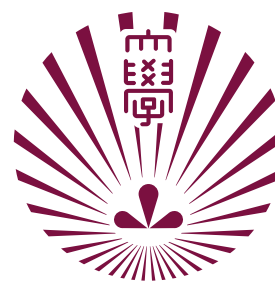
## シンボルロゴが小さい場合

シンボルロゴをあまり小さく用いると、見づらくなってしまいます。そこで、小サイズ用のシンボルを別に用意し、以下のように定めたルールによってシンボルロゴを使い分けます。

標準シンボル



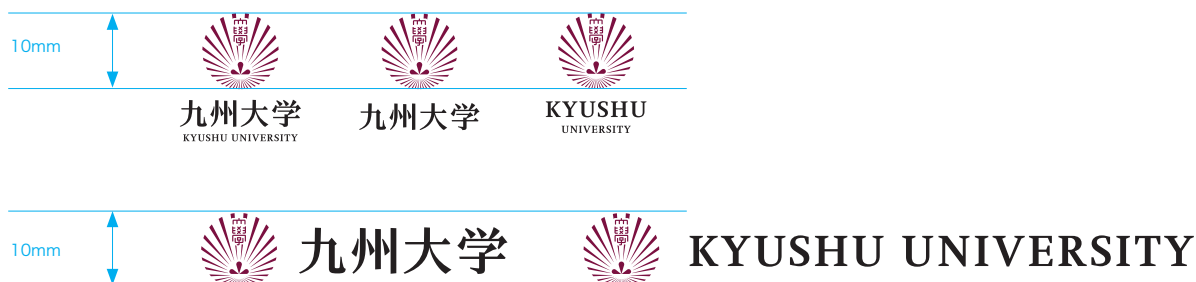
小サイズ用シンボル



サイズを小さくしても可視性を保てるように、特別に「大学」の文字の線を細くデザインしています。

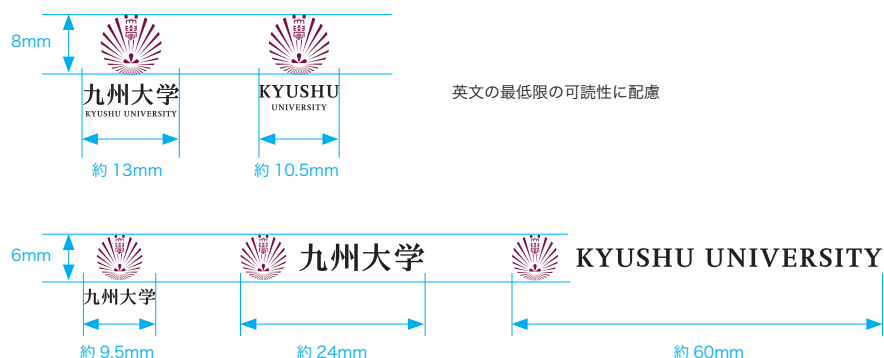
## 「小サイズ」の規定

シンボルの直径が 10mm 以下の場合、小サイズ用シンボルで構成されたシンボルロゴ（小）を使います。



## 最小サイズ

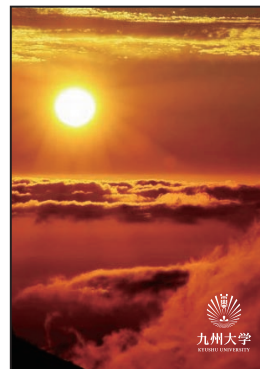
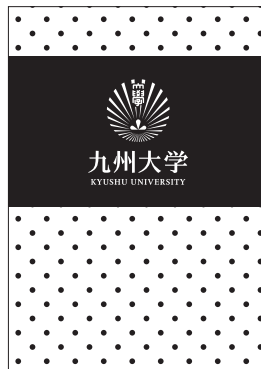
シンボルの「大学」の文字の可読性、および英文の可読性を考慮して、標準的な印刷を想定した場合のシンボルロゴの最小使用サイズを以下のように定めています。DTP プリンタでの出力、インターネットの HP など解像度の低い使用環境では、適宜可視性、可読性を個別に考慮する必要があります。



## シンボルロゴの背景について

シンボルロゴを写真や模様や色のついた背景の上に配置するときは、なるべく薄い色で無地に近いところに来るようにします。以下に例をいくつか紹介します。

シンボルロゴの背景色は、シンボルロゴのカラーに影響を与えないカラーを選びます。右の事例は無彩色です。



背景色がUIカラーの場合は白抜きが適切です。



背景色が濃い色彩の場合は白抜きが適切です。



パターンの入った背景にシンボルロゴを配置するときには、なるべく無地に近いスペースを使用します。また下地のパターンのコントラストを下げるなどの工夫も有効です。

写真の上にシンボルロゴを置くときは、無地に近いスペースがちょうどシンボルロゴの背景になるようにレイアウトします。また、シンボルロゴの背景にあたる部分のコントラストを下げるなどの工夫も有効です。濃い色調の写真の場合、シンボルロゴは単色が適切です。

